



おひさまっこ



入園から3か月がたって、おひさまっこにも慣れてきた子どもたち。元気に外を走り回る子どもたちですが、夏の季節は熱中症などに気をつけて遊ばせたいと思います。いつも、自然の中で駆け回る子どもたちです。ある時、「今日は苗場でじゃがいもほりをしよう」とデイサービス近くの畑に行き、じゃがいもほりを楽しみました。土の中から出てくるじゃがいもに、体中泥だらけにしてじゃがいもをとりました。自分の分を袋に入れると、「もってかえる～」と言って、重いジャガイモの入った袋を離さず、おひさまっこまで歩いてかえりました。その日のおやつは、掘りたてのじゃがいもをふかしてもらって、じゃがバターをいただきました。おいしかったね(*^-^*)



3日(月) プール開き

5日(水) 発育測定

10日(月) 保育料引き落とし

14日(金) 避難訓練

28日(金) 誕生会

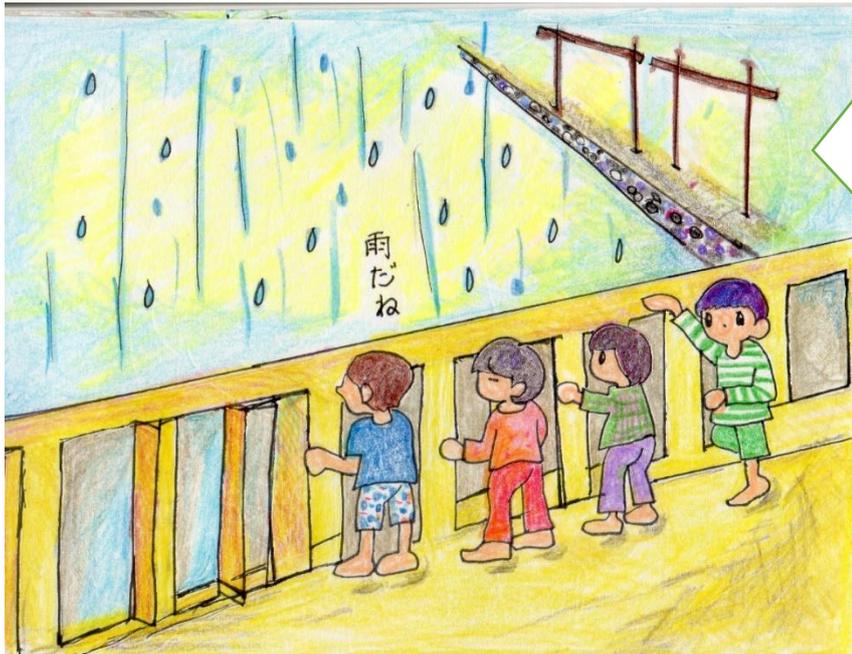
8月4日(金) 夏祭り(楽しいつどい)
詳細は、後日案内いたします。

・7月の土曜保育を希望の方は6月24日(金)までに、用紙を提出してください。(希望の方は両親の就労証明書が必要となりますので添付して提出してください。なお、7月29日の土曜保育は職員研修のため、お休みです。

・水遊びが始まります。体調のチェックや爪がのびていないかなど確認してください。

・園庭開放は16時30分までとなります。また、遊ぶ時は子どもさんから、目を離さないようお願いいたします。

6月の子どもの姿



梅雨の時期は雨がたくさん降って、お外に出られない!!
ベランダから雨を見ながら、「♪あめあめふれふれ～かあさんが～♪」とうたうと、ザーザーのすごい雨

うたにあわないね～

散歩の途中、泥のもっこり山になったものを発見。

「これなに？」
「わんわん、うんこ！」
「ちがう！どろ！」

何度も言い合っていました(笑)



山開き・海開き

7月はいよいよ夏の盛りです。多くの人が山や海に出かけます。むかしの人たちは山には神さまがすんでいると考えていました。山そのものを神さまとみなしたり、神仏がやどる場所と考えていました。ですから、修行をする人のほかはむやみに山に登れませんでした。いっばんの人たちが山に登ることを許されたのはきめられた期間で、夏の間だけでした。この、山にのぼるのがゆるされる日のことを「山びらき」といいます。今は、この日に山にのぼる人の安全をいのる行事が行われます。富士山の山びらきは7月1日です。川や海でも「川びらき」「海びらき」が行われます。川や海で水の事故がないように祈る行事です。保育園では「プールびらき」が行われます。この夏も、安全に水遊びが楽しめるといいですね。

七夕



そのむかし、日本では『たなばた』という機械で着物を織ってお供えをして、豊作祈願をしたり、人びとのけがれをはらったりする風習がありました。その後、お盆を迎える準備として7月7日に行われるようになっていったそうです。これが七夕の起源だといわれています。おひさまっこではブラックシアターや絵本をみせてもらったり、保育士と一緒に歌をうたったりして、たなばたをおいわいます。